



2027年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年9月14日

上場会社名 犬猫生活株式会社 上場取引所 東
コード番号 556A URL <https://corp.inuneko-seikatsu.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 佐藤 淳
問合せ先責任者（役職名） 取締役兼管理部長（氏名） 岩見 真人（TEL）03(6698)7040
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2027年4月期第1四半期の業績（2026年5月1日～2026年7月31日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年4月期第1四半期	1,287	—	185	—	184	—	116	—
2026年4月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年4月期第1四半期	42.99	40.21
2026年4月期第1四半期	—	—

（注）当社は、2026年4月期第1四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2026年4月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2027年4月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年4月期第1四半期	2,670	2,152	80.6
2026年4月期	2,385	1,777	74.5

（参考）自己資本 2027年4月期第1四半期 2,152百万円 2026年4月期 1,777百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年4月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2027年4月期	—	—	—	—	—
2027年4月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年4月期の業績予想（2026年5月1日～2027年4月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,684	26.5	716	19.3	720	20.1	468	△5.6	172.10

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年4月期1Q	2,739,500株	2026年4月期	2,636,000株
② 期末自己株式数	2027年4月期1Q	-株	2026年4月期	-株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年4月期1Q	2,710,310株	2026年4月期1Q	-株

(注) 当社は2026年4月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2026年4月期第1四半期の期中平均株式数を記載しておりません。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(重要な後発事象の注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大等を背景に、輸出を中心に緩やかな回復基調が続きました。もっとも、継続的な物価上昇に伴う消費者の節約志向の高まりから個人消費は力強さを欠く展開となったほか、原材料・物流コストの高止まりや設備投資の弱含みも重なり、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

なお、当社が属するペット関連市場におきましては、これまで減少傾向にあった飼育頭数に下げ止まりの兆しが見られ、また、ペットの家族化に伴うプレミアムフードやヘルスケア需要は引き続き堅調に推移し、中でもデンタルケア用品につきましては、飼い主の口腔ケア意識の高まりや製品ラインアップの充実等を背景に、需要の一層の拡大が期待される状況にあります。

このような状況のもと、当社は自社EC販売をはじめとした生活販売の拡大を進めるとともに、主力商品である「デンタルふりかけ」のプレミアム版となる新商品の販売開始や、トリミングサロン「HANARE渋谷」の出店及び株式会社再春館製薬所との共同開発商品の販路拡大など、商品拡充と販売チャネルの拡大を図ってまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間の業績につきましては、売上高は1,287,853千円、売上原価は331,952千円、売上総利益は955,901千円となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、広告宣伝費が380,007千円、給与手当が75,662千円となったこと等により合計で770,384千円となり、この結果、営業利益は185,516千円となりました。

営業外収益は548千円、営業外費用は1,471千円の計上により、経常利益は184,593千円、税引前四半期純利益は184,593千円となりました。また、法人税、住民税及び事業税を30,768千円、法人税等調整額を37,297千円計上したことにより四半期純利益は116,527千円となりました。

なお、当社は、ペット関連事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は2,444,170千円となり、前事業年度末に比べ325,289千円増加いたしました。これは主に第三者割当増資により現金及び預金が増加したことによるものであります。

固定資産は225,984千円となり、前事業年度末に比べ40,159千円減少いたしました。これは主に繰延税金資産が37,297千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は475,997千円となり、前事業年度末に比べ83,032千円減少いたしました。これは主に未払法人税等が67,983千円、未払消費税等が26,144千円減少した一方で、買掛金が増加したことによるものであります。

固定負債は41,874千円となり、前事業年度末に比べ6,663千円減少いたしました。これは長期借入金が増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は2,152,283千円となり、前事業年度末に比べ374,825千円増加いたしました。これは第三者割当増資及びストックオプションの権利行使による新株式の発行により資本金及び資本準備金が増加したこと、並びに四半期純利益が116,527千円となったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年4月期の業績予想につきましては、前回公表（2026年6月15日付）いたしました業績予想の変更はございません。

なお、当該業績予想は現時点での情報をもとにしており、今後、業績動向の変化を与える事象が生じた場合等には業績予想を変更する場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年4月30日)	当第1四半期会計期間 (2026年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,527,059	1,721,702
売掛金	245,066	335,583
商品及び製品	254,255	283,428
仕掛品	12,163	24,905
原材料及び貯蔵品	14,506	13,423
前渡金	52,292	52,629
その他	13,702	12,664
貸倒引当金	△166	△166
流動資産合計	2,118,880	2,444,170
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	3,155	32,194
減価償却累計額	△917	△15,717
建物附属設備（純額）	2,237	16,477
工具、器具及び備品	2,770	4,779
減価償却累計額	△1,217	△2,424
工具、器具及び備品（純額）	1,553	2,354
リース資産	8,449	8,449
減価償却累計額	△2,813	△3,516
リース資産（純額）	5,635	4,932
建設仮勘定	11,850	-
有形固定資産合計	21,276	23,764
無形固定資産		
のれん	74,344	69,377
ソフトウェア	2,125	6,082
ソフトウェア仮勘定	4,200	-
無形固定資産合計	80,669	75,459
投資その他の資産		
敷金及び保証金	50,627	50,627
繰延税金資産	113,001	75,703
その他	569	429
投資その他の資産合計	164,197	126,760
固定資産合計	266,143	225,984
資産合計	2,385,024	2,670,154

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年4月30日)	当第1四半期会計期間 (2026年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	78,328	89,613
1年内返済予定の長期借入金	26,652	26,652
リース債務	1,570	1,178
未払金	222,879	227,665
未払費用	49,783	44,731
未払法人税等	103,889	35,906
未払消費税等	73,012	46,867
その他	2,914	3,382
流動負債合計	559,030	475,997
固定負債		
長期借入金	42,254	35,591
長期リース債務	6,283	6,283
固定負債合計	48,537	41,874
負債合計	607,567	517,871
純資産の部		
株主資本		
資本金	558,382	687,531
資本剰余金		
資本準備金	558,667	687,816
資本剰余金合計	558,667	687,816
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	660,407	776,935
利益剰余金合計	660,407	776,935
株主資本合計	1,777,457	2,152,283
純資産合計	1,777,457	2,152,283
負債純資産合計	2,385,024	2,670,154

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自2026年5月1日 至2026年7月31日)
売上高	1,287,853
売上原価	331,952
売上総利益	955,901
販売費及び一般管理費	770,384
営業利益	185,516
営業外収益	
受取利息	142
その他	406
営業外収益合計	548
営業外費用	
支払利息	239
支払手数料	351
その他	880
営業外費用合計	1,471
経常利益	184,593
税引前四半期純利益	184,593
法人税、住民税及び事業税	30,768
法人税等調整額	37,297
法人税等合計	68,065
四半期純利益	116,527

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当社は、ペット関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次の通りであります。

	当第1四半期累計期間 (自2026年5月1日 至2026年7月31日)
減価償却費	1,528千円
のれんの償却額	4,967千円

(重要な後発事象の注記)

(取得による企業結合)

当社は、2026年9月14日開催の取締役会において、株式会社どうぶつのもりの全株式を取得することを決議いたしました。

(1) 企業結合の概要

①被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社どうぶつのもり

事業内容 動物病院の運営

②企業結合を行った主な理由

本株式取得は、既に取得済みの益田ペットクリニック（島根県）に続く2拠点目の動物病院取得となるものであり、首都圏近郊における拠点の確保、動物病院運営ノウハウの更なる蓄積、及び取得後の当社商品の紹介を通じた「犬猫生活ブランド」の認知拡大に資するものと考えたことから、本株式取得を決定いたしました。

③企業結合日

2026年10月1日

④企業結合の法的形式

現金を対価とした株式の取得

⑤結合後の企業の名称

変更ありません。

⑥取得する議決権比率

100%

⑦取得企業を決定するに至る主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものです。

(2) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得価額につきましては、相手先の要請により開示を控えさせていただきます。なお、取得価額の検討に際しては、外部専門家等における適切なデューデリジェンスを実施し、双方協議の上、妥当な価格を算出して決定いたしました。

(3) 主要な取得関連費用の内訳及び金額

アドバイザー費用等 11,100千円

(4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定していません。

(5) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定していません。